

会長：柳田 光寛 副会長：藤堂 孝一
幹事：荒武 義博 会報委員長：林 厚雄
会計：日高 邦孝
事務局：吉野由里子 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
例会日：毎週水曜日
例会場：佐土原商工会 2F TEL：0985-73-2567



第1114回 平成22年5月12日(水)

本日のプログラム

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 点鐘 | 7. 幹事報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 8. 4・5月のセレモニー |
| 3. ロータリーソング
「我らの生業」 | 9. 出席報告 |
| 4. 四つのテスト | 10. 委員会報告 |
| 5. 会長の時間 | 11. 地区協議会報告 |
| 6. ハッピーBOX披露『会長より』 | 12. 点鐘 |

5月19日(水)・・・次年度計画「クラブ管理運営委員会」

5月26日(水)・・・次年度方針「藤堂孝一君」

6月2日(水)・・・地区協議会報告「各部門」

佐土原ロータリー月間テーマ

【親睦活動月間】

第1113回の記録 平成22年4月28日

会長の時間

柳田 光寛 会長



みなさんこんにちは、今日は1113回目の例会です。
先日23日は、当クラブ主催の第75回歯車会ゴルフコンペにたくさんの方に
参加頂きましてありがとうございました。
成績等はのちほど親睦委員長の吉田会員より報告が有ると思います。

＜パワハラもセクハラもモラハラの仲間！＞

ーある晴れた休日、Y家では家族そろって外出の準備をしています。お母
さんは朝から家族の朝食作りや子どもたちの世話に忙しく、お父さんは車を洗ったり、自分の身支度を整えたり
しています。
支度を終えたお父さんは子どもたちを車に乗せ、自分もさっさと運転席に乗り込み、エンジンをかけはじめ
ました。
お母さんは夫をイライラさせてはいけないと、化粧もそこそこに、あせる気持ちで家中のカギをかけて回り
ます。
しかしお父さんは待ちきれず、大きく2～3回クラクションを鳴らしてしまいます。せかされたお母さんは、
慌てて助手席に乗り込みましたが、運転席のお父さんは子どもたちに聞こえるように大きな声で・・・。
「まったく、いつものろまだな。グズならグズなりに、なんで昨日のうちから準備しておかないんだ！子ども
たちも呆れてるぞ！」ー

モラル・ハラスメントは、こんな日常の何気ないやりとりのなかにも見られます。身近な誰かの非を見つけ、
人間的な価値を貶めて自尊心を満足させるのが、加害者の常套手段です。モラル・ハラスメントは、家庭だけで
起こるものではありません。

友人、恋人関係の中でも起こりますし、職場のパワーを利用したいやがらせ(パワハラ)、異性に対する性的
いやがらせ(セクハラ)も、モラル・ハラスメントの仲間です。つまり、どんな状況であれ、自分より立場の弱
い人間に精神的な苦痛を与えて満足する行為は、すべてモラル・ハラスメントに関連するのです。しかし、モラ
ル・ハラスメントを受ける被害者は、なかなか加害者の支配から抜け出すことができないことも多いのです。

■モラハラのワナから逃れられないのはなぜ？

被害者は、自分の人間性を非難され「ダメ人間」のレッテルを貼られますが、加害者はさらに巧みに「非難さ
れるのはおまえに非があるせいだ」と思わせます。そのため、被害者はその言葉を素直に受け入れ、自己を否定
してしまいやすいのです。しかし、被害者が自己を責めつづけるかぎり問題は他人に気づかれにくく、加害者の
支配からもなかなか抜け出すことができません。しかも、加害者は「ダメなおまえを受け入れられるのは、私し
かない」と自分を唯一の理解者であるかのように思わせることもあります。そして、支配から逃れようとする
と「おまえのために自分を犠牲にしてきた私から離れようとするなんて、最低な人間だ」などと、罪悪感を植え
つけることもあります。

被害者が素直な人であればあるほど、巧みな言葉に惑わされて、自ら犠牲的立場をとりつづけてしまうことも
あるのです。

つまり、加害者が自己満足が続けたいがために言葉で操っていることに、被害者自身気づかないということです。
しかし、モラル・ハラスメントを受けつづけると、被害者は抑うつが高まり、うつ病に移行してしまったり、
支配から抜け出したのちにも、PTSDに悩まされることもあります。こうしたリスクを避けるためにも、本人がモ
ラハラの被害に早め気づいて加害者の支配から脱出する必要があるのですが、それにはまず加害者の特徴を知
っておくことが肝心になります。

■どんな人がモラハラするの？

フランス・イルゴイエンヌ氏は、著書『モラル・ハラスメント』のなかで、加害者を「自己愛的な変質者」
「症状のない精神病患者」と語っています。つまり、加害者は、自分がモラル・ハラスメントを行っている
などとは夢にも思っておらず、考え方を修正しようという気持ちもありません。・・・次頁へ続く

SADOWARA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

前頁より・・・被害者がなんとかして加害者の心を変えようと思っても、精神的負担を増やすだけで、状況は何も変わらないということが多いのではないのでしょうか？

加害者のなかには、やさしい態度やへりくだった態度であなたに近づこうとする人もいます。しかし、それがあなたを利用するための行為ではないかを注意深く見極める必要があります。自己愛が強く、自己中心的な人には以下のような特徴があるので、心当たりがないかチェックしてみましょう。

- ・いつも自分が優位に立ち、賞賛が得られないと気がすまない
- ・他人の気持ちに共感することや、心を通わせあおうという気持ちがない
- ・他人にあこがれて近づいても、すぐに嫉妬で心がいっぱいになる
- ・他人をほめることをしない。欠点をあげつらい、いつも悪口をいっている
- ・自分の考え方や意見に異を唱えられることをいやがり、無条件に従うことを要求する
- ・自分の利益のためなら、他人を平気で利用しようとする
- ・自分は特別な人間だと思っている
- ・政治的な意見や趣味など、相手の考えを嘲弄し、確信を揺るがせる
- ・相手に言葉をかけない
- ・人前で笑い者にする
- ・他人の前で悪口を言う
- ・釈明する機会を奪う
- ・相手の欠陥をからかう
- ・不愉快なほめかしをしておいて、それがどういうことか説明しない
- ・相手の判断力や決定に疑いをさしはさむ

もちろん、多少上記のような特徴を持ち合わせていても、すべての人がモラル・ハラスメントを行うとはかぎりません。

特に精神的にまだ未熟な人、挫折を経験したことのない人のなかには、尊大な態度で不用意に傷つけてしまうこともあるかもしれません。

また、もし自己中心的な部分があったとしても、相手のことを認める心があったり、少しでも他人と共感したいという気持ちがあれば、いずれ精神的に成長して、思いやりの心が育っていくこともあるでしょう。しかしあなたの友人に、明らかに自己愛的傾向が強く、自己満足のためにあなたを支配し、利用しようとする人がいたら、早めに距離をおいたほうが賢明なこともあります。

しがらみ上、どうしても抜け出せない関係の場合には、なるべく相手との精神的な交流を断つことで、自分を守っていくことも大切なのではないかと思います。

モラルハラスメントは、夫婦間、男女間に限って起こるものではありません。また、加害者本人も気づかないままに、家庭や職場、地域、学校、施設などでも発生している可能性があります。被害者がモラハラ言動を受けたときには、最初から解決不可能な問題と考えるのではなく、まずは話し合うことで善処を試みていくことが肝心です。

委員会報告

- 親睦委員長
＜歯車会報告＞
林厚雄くんがすばらしいスコアで優勝されました。

吉田 康一郎 君



藤堂 孝一 君

- 拡大準備委員会参加の報告



～3分間スピーチ～

- 宮内 文功 君
職業近況報告スピーチ



- 原田 宗忠 君
長年にわたる多くの趣味に関するスピーチ



～本日のビジター～

福岡県 苅田ロータリークラブより
富安洋輔さん

幹事報告

荒武 義博 君



- ※例会変更届け～無し
- ※宮崎西RC～創立50周年記念式典参加のお礼
- ※ロータリーの友～購読部数報告のお願い

ハッピーBOX披露

- ※垂水敏雄君～国の立直しのため国民の意思統一をめざそう。 「財団へ」
- ※垂水敏雄君～84回目の誕生記念日を迎えることができました。これも佐土原RCの皆様の若々しいエネルギーのおかげだと感謝しております。 「ニコニコへ」
- ※正岡文郁君～不順な毎日、早く正常な気候に戻って欲しいですね。 「ニコニコへ」
- ※岩切正司君～地区協議会に参加しよう。 「米山へ」

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第1109回

平成22年3月24日(水)

会員数	25名
(免除会員)	2名
出席者数	20名
欠席者数	5名
出席率	89.0%
メイクアップ	0名
修正出席率	89.0%

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにしてください・・・
